



新たな子育て支援の拠点として（高根台子育て支援センター）

第4回定例会

中核市移行に関する条例19議案を 含め全32議案を可決

平成十四年第四回定例会は、十二月二日から十二月二十日までの十九日間の会期で開かれました。

初日には、閉会中継続審査となっていた平成十三年度各会計決算の審査報告と採決が行われたほか、市長から提出された二十八議案の説明があり、これに対し六日に五人の議員が質疑を行いました。

また、九日から五日間、一般質問が行われ、三十一人の議員が市政の諸問題について質問しました。

さらに、十六日には常任委員会、十七日には予算特別委員会が開かれ、付託された議案及び請願・陳情の審査が行われました。

最終日には、議案、請願・陳情及び追加提出された四議案を議決し、閉会いたしました。



船橋市の飛躍の年によせて

船橋市議会議長 千葉 満

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成十五年の新春を輝かしく迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

昨年我が国は、サッカーのW杯が盛大に行われ、世界のトップスターチームと日本代表の華麗なプレーに対し、国を挙げて応援した感動は今も心にしっかりと残っております。

景気低迷にあえぐ我が国にとってW杯サッカーは相当な経済効果をもたらし、また起爆剤になるものと期待を抱かせる熱いものが感じられましたが、景気を一気に転換させ

るものではなく、国も地方も厳しい財政運営が続いているのが現状でございます。

この財政運営の難局は、船橋市も例外ではありません。そのような中、平成十五年の船橋市は、行政的には新年度から県下初の中核市として新生し、大幅に業務を拡大すること、市民福祉の向上に

応えるとともに、まちづくりという点では、同じ時期にJR船橋駅南口の再開発ビルがFace（フェイス）の愛称で華やかにオープンいたします。

おめでたい中核市、新生船橋市の門出の年明けではございます。

市民の皆様にはさらなるご理解とご協力を賜いますようお願い申し上げます。

会議の経過

十二月二日

- 開会
- 会期の決定
- 決算認定の審査報告及び採決
- 議案の提案説明

六日(金)

- 議案質疑
- 議案の付託

九日・十日(火)

- 一般質問

十一日(水)

- 一般質問
- 議会運営委員会

十二日(木)

- 一般質問

- 請願・陳情の付託

十六日(月)

- 常任委員会

十七日(火)

- 予算特別委員会

二十日(金)

- 付託事件の審査報告及び採決
- 追加議案の提案説明、質疑、採決
- 議案の採決
- 閉会

主な記事

議案の概要 議員提出議案	
議案に対する質疑	2頁
各委員会の動き	3頁
各会派新年の抱負	4頁・5頁
一般質問	6頁～8頁
議案議決結果 請願・陳情議決結果	8頁

議案について

議案の概要

- 予算関係**
- 平成14年度船橋市一般会計補正予算 **〔第1号〕**
七千万円の増額補正。
- 平成14年度船橋市介護保険事業特別会計補正予算 **〔第2号〕**
千五百万円の増額補正。
- 平成14年度船橋市一般会計補正予算 **〔第29号〕**
給与改定に伴う五億五千万円の減額補正。
- 〔条例関係〕**
- 船橋市行政組織条例の一部を改正する条例 **〔第3号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市個別外部監査契約に基づく監査に関する条例の一部を改正する条例 **〔第4号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市手数料条例の一部を改正する条例 **〔第5号〕**
法改正及び中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市証紙条例の一部を改正する条例 **〔第6号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市特別会計条例の一部を改正する条例 **〔第7号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市議会議員及び船橋市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ボスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例 **〔第8号〕**
法改正に伴い整備するもの。
- 船橋市船橋駅前総合窓口センター条例 **〔第9号〕**
船橋駅前総合窓口センター設置に伴い整備するもの。
- 船橋市市民活動サポートセンター条例 **〔第10号〕**
市民活動サポートセンター設置に伴い整備するもの。
- 船橋市結核検査協議会条例 **〔第11号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市感染症検査協議会条例 **〔第12号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例 **〔第13号〕**
法改正に伴い整備するもの。
- 船橋市保健所条例 **〔第14号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市地域保健推進協議会条例 **〔第15号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市市化製場等に関する法律に基づく届出事項を定める条例 **〔第16号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市食品衛生法に基づく公衆衛生上講ずべき措置の基準に関する条例 **〔第17号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市動物の愛護及び管理に関する条例 **〔第18号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市小規模水道条例 **〔第19号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市社会福祉審議会条例 **〔第20号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市環境保全条例 **〔第21号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例 **〔第22号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例 **〔第23号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市屋外広告物条例 **〔第24号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市開発審査会条例 **〔第25号〕**
中核市移行に伴い整備するもの。
- 船橋市民文化ホール条例の一部を改正する条例 **〔第26号〕**
文化芸術ホールの設置に伴い整備するもの。
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **〔第30号〕**
給与等を改定するもの。
- 特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例 **〔第31号〕**
期末手当の支給割合等を改定するもの。
- 市長等の給料月額の特例に関する条例 **〔第32号〕**
給与月額を減額するもの。
- その他**
- 訴えの提起について **〔第27・28号〕**
市営住宅の明渡し請求等。

議員提出議案

- 〔発議案第1号〕**
船橋市行政組織条例の一部改正に伴い改正を行うもの。
- 〔発議案第2号〕**
専決処分事項の指定について市長の専決処分事項の指定。

質疑

清新会は、五会派（市清会・新風・ふなばし21・清新会・緑政会）を代表して質問しました。

小さな声 ネットワーク

- 第8号について**
- 問 現状維持の中で限度額の引き上げが必要か。
- 答 施行令の一部改正により国と同額に引き上げるもの。
- 第9号について**
- 問 時間延長で職員配置は。早・遅番職員の交代制で職員を確保する。また、非常勤職員での対応をする。
- 答 配置する非常勤職員のコーディネーターの能力は。コーディネーターの業務は考えていない。
- 第10号について**
- 問 配置する非常勤職員のコーディネーターの能力は。コーディネーターの業務は考えていない。
- 答 コーディネーターの業務は考えていない。
- 第16号について**
- 問 市内の化製場の実態は。市内には、畜舎は十九施設あり、家畜舎はなし。
- 答 市内の化製場の実態は。市内には、畜舎は十九施設あり、家畜舎はなし。
- 第18号について**
- 問 ①動物実験施設の把握、②教育の場での啓発は。
- 答 ①本条例は、一般の飼主を対象としているので、把握していない。②機会のあるごとにPRに努めたい。
- 第21号について**
- 問 土壌及び地下水の汚染等を防止するための措置は。
- 答 知識の普及啓発を図り、届出立ち入り検査及び土壌・地下水の監視、汚染地帯の除去装置の設置等を講じている。
- 第26号について**
- 問 文化芸術振興基本法施行により市の取り組みに変化があるか。
- 答 文化芸術振興に関する基本方針を視野に入れ推進したい。
- 日本共産党**
- 第3号から第25号について**
- 問 来年度以降の地方交付税額の確保について、どのように責任を持つか。
- 答 現時点では額の明示は不可能だが、中核市移譲事務相当分の財源は、普通交付税及び臨時財政対策債で確保できる見通しである。政策決定の透明化をどのように図っていくのか。
- 問 行政の決定に対する監視機関の設置等について、今後よく勉強したい。
- 問 企業献金とさっぱり縁を切るべきではないか。
- 答 既に政治資金規正法改正により禁じられているものであるが、市長としては、今後も受け取らない。

公明党

- 第7号について**
- 問 平成十五年四月一日以降の新規貸し付け見込みは。
- 答 昨年度実績で継続八十五人、新規八十七人、合計六千七百円。これを基に継続と新規合計で三百人を算定。特別会計の予算規模は。未償還金の取扱いは。
- 問 土壌及び地下水の汚染等を防止するための措置は。
- 答 約一億円程度を予定。未償還金については、内容を精査し県と十分協議の上、講じている。
- 第26号について**
- 問 文化芸術振興基本法施行により市の取り組みに変化があるか。
- 答 文化芸術振興に関する基本方針を視野に入れ推進したい。
- 市民連合**
- 第1号及び第2号について**
- 問 税収の見込みはどうか。
- 答 税収は厳しい状況が続くと思う。滞納分を納めてもらう徴収努力を続けたい。
- 問 本中山出張所移転に伴う西部公民館の建て替えは。
- 答 十七年度から基本設計・実施設計を予定している。
- 問 今後の消防署の適正配置計画はどうか。
- 答 適正配置を含め、四未整備地区の整備を進めたい。
- 清新会**
- 第1号について**
- 問 財源調整基金の今後の見通しは。
- 答 現在の三十億円程度は維持したい。
- 第3号について**
- 問 組織改正の目的・理念は。今後は、条例制定を機に関係部署に周知徹底したい。
- 問 第30号について
- 問 若手職員に配慮し、等級が上がるに従い給与引き下げ率が上がる改定としたので、一網打尽ではない。
- 問 産業廃棄物関連事務への専門職員配置を考えるか。
- 答 産業廃棄物課設置を視野に入れ、検討する。

二年後に買い取る予定。第21号について

- 問 全部改正とした理由及びその効果、特徴は。
- 答 中核市移行に伴う事務の移譲や県から市への条例引き継ぎなどがあり、環境影響の事実ごとに分類すると構成全体を再構築するようになり、全部改正とした。
- 問 地下水採取規制対象範囲拡大の根拠、現行条例との違い、改正による効果は。
- 答 揚水ポンプの能力向上、経済的理由による上水道から地下水への転換、それらにより懸念される地盤沈下。揚水施設を新たに対象とすることによって、より実態を正確に把握できる。
- 第22号について**
- 問 許可後の監視体制は。
- 答 立ち入り検査等による監視や不法投棄の防止を行う。
- 第26号について**
- 問 文化ホールや市民創造館の具体的な運営は。
- 答 市民の文化芸術活動の支援など、特色ある文化の情報発信事業を進めていきたい。
- 第9号について**
- 問 四月一日の中核市移行と同時に開設できないのか。
- 答 四月中旬オープンを目指し、調整を図っている。
- 第11号及び第12号について**
- 問 協議会等の設置条例なら、様式を統一すべきでは。
- 答 法律により、定める内容が異なる。整合性が図れるか研究したい。
- 第18号について**
- 問 飼い犬専用の遊び場を確保する考えはあるか。
- 答 衛生上の問題やトラブルを入れ、検討する。
- 第9号について**
- 問 本庁等でも土日開庁、開庁時間延長を実施するか。
- 答 経費等の点から、実施は考えていない。
- 第10号について**
- 問 市民活動サポートセンターに使用許可条件を付さない理由は。
- 答 だれでも利用できる場として、オープンスペース仕様による提供としたため。
- 第21号について**
- 問 禁止燃焼行為の範囲は。
- 答 産業廃棄物のほか、一般家庭等が行う著しく煤煙・悪臭を伴う燃焼行為など。
- 第22号について**
- 問 本条例の特徴は。
- 答 五百平方メートル以上の土壌汚染未然防止規定等を設けた。
- 第24号について**
- 問 講習会の開催内容は。
- 答 屋外広告業者の資質向上。
- 第26号について**
- 問 文化創造館の位置付けは。
- 答 情報発信、活動支援により文化芸術振興に寄与する。



各委員会の動き

総務委員会

審査事件

- 議案6案
- 陳情3件

審査の概要

議案について

第3号行政組織条例の一部を改正する条例については、子育て支援部の所管する事務にはどのようなものがあるか、どのようにサービス充実につながるのか等の質疑があった。

第4号個別外部監査契約について

厚生委員会

審査事件

- 議案12案
- 陳情7件

審査の概要

議案について

第9号船橋駅前総合窓口センター条例は、専門的業務に携わる臨時職員の教育や、本庁業務が五割移行することについての市民への周知方法等について質疑があった。

賛成討論として、「市民要望

への柔軟な対応と市民への周知を徹底すること」、「各部門とも責任あるバックアップ体制を組むこと」との要望・意見があった。

第11号結核診療協議会条例は、結核患者発生の動向等について質疑があった。

環境経済委員会

審査事件

- 議案3案
- 陳情7件

審査の概要

議案について

第21号環境保全条例は、賛成討論として「拡声機の使用制限については、表現の自由を奪うものであってはならない」、「各種特定施設に対する立入り検査を強化された

い」等の意見があった。

第22号土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の防止に関する条例は、賛成討論として「事前協議とその後バトリール体制が本条例の実効性に大きく結びつくものである」、「全庁・全市を挙げて土壌汚染防止を推進されたい」等の意見があった。

第23号浄化槽保守点検業者の登録に関する条例は、賛成討論として「第46号から第48号馬込斎場式場の削減中止等に関する陳情は、採択の立場で「公共の式場は重要であり、小規模式場の役割は大きい」、「第一式場の分割を検討し、第五式場を存続すべきだ」等の意見があり、3件は全会一致で採択と決した。

建設委員会

審査事件

- 議案4案
- 請願陳情2件

審査の概要

議案について

第24号船橋市屋外広告物条例については、屋外広告物の定義、条例抵触の具体例、禁止広告物の判断者、現行条例の効果、市民の恩恵、市の体制、事務簡素化、政治活動関係物の除外等の質疑があり、

第25号船橋市開発審査会条例は、審査会内容、公開方法、事務迅速化、本事務の變更等について質疑があり、「会議の原則公開、不服申し立てが容易となる点を評価する」、「開発審査の迅速化、会議の原則公開の点に期待する」等の発言があった。

第27号及び第28号の訴えの提起については、滞納者の支払い能力、滞納者数、市の解決努力、減免措置等について質疑あり、「訴訟資料は極力庁内での作成を希望する」、「市営住宅入居希望者が多い点からも賛成」との賛成討論があり、2案とも、全会一致で可決と決した。

文教委員会

審査事件

- 議案1案
- 請願陳情4件

審査の概要

議案について

第26号船橋市民文化ホール条例の一部改正条例は、市民文化創造館に関して、天井

の構造、天井が低く、施設が生まれにくい恐れもある。特化した施設として考えない多目的な貸し施設になる危険性が高いので、市民の知恵を追求してもらいたい」、「市民の文化創造の振興に大きく役立つと考える」等の発言があった。

第51号普通学級に通学する障害児の環境整備に関する陳情、第52号学校給食への遺伝子組み換え米使用自粛に関する陳情、第53号学校給食食器洗浄の石けん使用拡大に関する陳情は採択、請願第3号教育予算増額等に関する請願は不採択と決した。

平成十三年度決算を認定

第3回定例会で設置された決算特別委員会（関根和子委員長、野田剛彦副委員長外十二人）は、平成十三年度決算（一般会計、特別・企業会計）十一件について、閉会中の十一月六日から三日間にわたり質疑を行い、十一日に討論・採決を行った。

一般会計決算の主な討論では、不認定の立場で「市の財政構造は地方分権とは逆に、国の財政事情に支配されている。開発協会の委託で購入した道路用地の代替地は高

予算特別委員会

議案第1号平成14年度一般会計補正予算及び議案第2号平成14年度介護保険特別会計補正予算については、予算特別委員会（安藤信宏委員長、中村実副委員長外十二人）を設置し、審査を行った。

業の充実を願う。教育費では、子供たちが持っている可能性を十分発揮できる環境整備・安全管理に配慮されたい。職員数の適正化、特別養護老人ホームや放課後ルームの設置、保育サービスの充実、予防接種事業などの取り組みを評価する。海を活かしたまちづくり基本構想では、船橋駅を降りて海を意識する施策を要望する。収入未済が指摘されているが、徴収専門チームをつくり効率的な施策が展開されるよう要望する」との討論があった。

採決の結果、認定11件は、多数又は全会一致で、それぞれ認定すべきものと決した。

今回の移転とともに西部公民館は老朽化が著しいので、立て替えて同時進行で行い、土地を有効活用して児童ホームを併設することも要望する。

議会運営委員会

可決された決議・意見書

北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）による拉致問題の徹底説明等に関する意見書

障害者支援費制度の適正運用に関する意見書

総合的な子育て支援策に関する意見書

地域雇用対策の強化改善に関する意見書

中小企業支援策の拡充に関する意見書

国道及び主要地方道の歩行者安全対策に関する意見書

道路特定財源の歩行者安全確保への積極使用に関する意見書

乳幼児医療・介護保険・国民健康保険制度充実に関する意見書

担の適正化に関する意見書

WTO（世界貿易機関）農業交渉等に関する意見書

遺伝子組み換え米不承認等に関する意見書

児童扶養手当制度の見直しに関する意見書

アメリカの対イラク先制攻撃阻止に関する意見書

保育所職員配置基準改善に関する意見書

各会派 新年の抱負

市 清 会



中村 洋
佐藤新三郎
田久保好晴
興松 勲
米井 昌夫
佐々木照彦
田中 恒春
滝口 宏
櫛田 信明

皆さま、新年おめでとうございます。
四十五年ぶりで雪に明けた本年が幸多き年になりますよう御祈念申し上げます。
この船橋市は、今年平成十五年に「中核市」になるという新しい第一歩を踏み出します。県から市へ、多くの自治権が移管され、私たち船橋市民の街づくりに対する積極的な取り組みと住民福祉に根ざした主体的な市政の展開が求められて参ります。
このような時に当たり、私も市清会の九名は、「活き活きとした触れ合いの街・船橋」を目ざして、船橋市民の手足、代弁者として、誠実な努力をして参りたいと思います。
どうぞ、尚一層のご支援を賜りますようお願いして、年頭のご挨拶いたします。

新 風



野田 剛彦
小石 洋
大沢 久
中村 静雄
斉藤 守

新年明けましておめでとうございます。
私たち新風は、限られた人たちの利益誘導の代弁をするのではなく、幅広く市民の意見を反映させる事が基本です。
取り分け厳しい状況の下では、コツコツとまじめに働き、社会を懸命に支えている人たちの夢や思いを市政に反映させる事が大切と考えます。
そして、市民の汗や涙を伴う努力も報われる船橋でなくてはなりません。
今年も、市民感覚を大切にする政治を行って参りますので、どうぞ宜しくご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

ふ な ば し 21



中村 実
長谷川 大
和田 善行

謹賀新年
小泉構造改革により国が変わり、地方も変わってまいります。
地方をとりまく環境が大きく変化していく中、中核市船橋市が大きく飛躍し、首都圏における都市での住み良さを実感できる様に頑張つてまいります。
市民の皆様が今年一年健やかですばらしい一年となることを願っております。

緑 政 会



木村 哲也
七戸 俊治

新年明けましておめでとうございます。
地方分権の推進と共に、地方政治も大きな変革を遂げる時が参りました。私も緑政会一同は、少子・高齢化問題を中心に環境、地域経済の発展、都市基盤整備、行財政改革等の諸問題に全力で取り組み、積極的に議論して参ります。
これからも温かいご支援を賜りますと共に、市民の皆様のご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

清 新 会



森田 則男
早川 文雄
瀬山 孝一

新年あけましておめでとうございます。
初心を忘れずに、清らかに新たに市民の生命・財産を守る為、一生懸命働く事をお約束致します。
本年も皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます。



安藤 信宏 池沢 敏夫 千葉 満 中江 昌夫 斉藤 誠

市民連合



角田 秀穂 上林謙二郎 高木 明 清水美智子 斎藤 忠 倍田 賢司 松崎 裕次 村田 一郎 鈴木 郁夫

公明党

新年明けましておめでとうございます。

公明党は、「まじめに働く人が報われる社会へ」との思いで新たに出発をいたしました。皆様のご理解、ご支援に心より感謝申し上げます。

人にやさしい社会の構築のため、

- 一、安心して暮らせる医療・福祉の充実
- 二、安全でゆとりのある都市づくり
- 三、循環型社会に適合した共生の街づくり
- 四、児童・生徒のための教育環境の充実
- 五、男女共同参画で潤いの街づくり

を目指してまいります。

公明党市議団九名は、生活与党として「地域の味方・市民の味方」をモットーに全力で働いてまいります。皆様のご健康・多幸を、心よりお祈り申し上げます。

福祉を大切に

高齢者や障害者にやさしい街づくりを

環境を大切に

人と自然にやさしい街づくりを

平和と文化を大切に

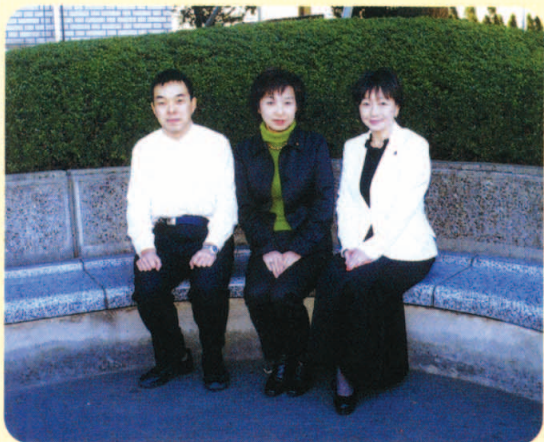
緑豊かな街づくりを

市民の声を大切に

市民本位の市政をめざします

二〇〇三年が

すばらしい年でありますように



朝倉 幹晴 木村ゆり子 さとうももよ

小さな声ネットワーク

二〇〇三年春 心から平和を祈念します。
「小さな声ネットワーク」は、市民の小さな声を市に届けようと結成した、所属政党なしの市民派市議3人の会派です。朝倉幹晴は、安全に歩ける街づくり・患者の権利確立・子育てしやすい船橋をめざしています。木村ゆり子は、日常生活の視点から住みやすい船橋を提案していきます。さとうももよは、自分らしい暮らしを尊重し合う「市民参加」のまちづくりを進めます。「小さな声」の切実さを市民と共に検証しながら、市に提案していきます。3人ともHP日誌で活動を公開中(議会HPリンク↓小さな声)、「ご覧ください」。



佐藤 浩

無所属



津賀 幸子 伊藤 昭博 関根 和子 草野 高徳 石川 敏宏 佐藤 重雄 高橋 忠 岩井 友子 金沢 和子

日本共産党

「福祉・教育・くらし」応援する
市政実現の年に

市民の皆様、あけましておめでとうございます。昨年をふりかえりますと、小泉構造改革のもとで「ふなしん」までもが破たんし追い込まれ「地域経済と雇用を守れ」の市民活動が大きく広がりました。

また、たび重なる医療改悪の中で「命とくらし守れ」の声も大きく広がりました。

今、「不良債権処理の加速」という中小企業つぶしや社会保障への三兆円を超える国民負担増のおしつけが進められ、市民生活はおびやかされています。

今年はいっせいで地方選挙の年。船橋市から自民公明・小泉政治の声を上げ、地方自治体の一番の仕事である「福祉・教育・くらし」を応援する市政実現のため九名の議員団は全力を尽くします。市民の税金を大切に運用すれば、くらしを守る施策は次々と実現できます。

・安心して医療・介護が受けられる福祉の充実

・生活道路や公共住宅の整備

・三番瀬や緑地などの自然環境保全

・保育園や学校整備、子育て支援

・地域経済の活性化と雇用確保 など、

市民の皆様と力をあわせ、要求実現に向け取り組んでまいります。日頃のご支援に感謝申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心より願っております。

ここがききたい 一般質問

公明党

障害者福祉と障害児教育の充実に向けて

問 障害者と事業者との契約に基づくサービス提供を行う支援費制度の中の児童デイサービスの利用対象が小学生までとなっており、中学生以上の障害児へのサービスが十分ではないのか。

答 中学・高校生が制度の中で利用できるサービスとして、日中預かり事業がある。県は今年度から障害児者在宅支援事業を制度化している。本市においても支援事業に対する財政的な施策が必要ではないか。

答 市としてこの制度による補助ができるよう県に要望をしている。また、来年度

問 県は今年度から障害児者在宅支援事業を制度化している。本市においても支援事業に対する財政的な施策が必要ではないか。

答 市としてこの制度による補助ができるよう県に要望をしている。また、来年度

から本市の事業となるため前向きに検討したい。

問 ホームページ等で公表された船橋市立学校等将来計画検討協議会の中間報告の中の障害児教育について、市民からどのような意見が寄せられ、その意見は今後どのように扱われるのか。

答 人的配置の希望、指導者の研修の充実、環境整備の必要性等の意見が寄せられた。来春の最終答申を受け、教育施策への実現に向けて努力をしたい。

子育て支援計画について

問 ワークショップから出された意見は、支援計画に反映されているのか。また、策定作業は透明性が図られるよう努力する。

答 現在、定期的なボランティアとして八名の方に配膳

しているのか。

答 策定委員会の公募委員三名はワークショップの参加者であり、十分計画に反映されたと考える。さらに、会議・会議録は公開されており、透明性は確保される。

問 子育て支援に関する市のホームページを一元化できないか。

答 窓口も一本化されるので計画的に取り組みたい。

問 子育て便利帳の改定を市民との協働で行うべきでは

答 公募による市民や関係職員とともにワークショップで学んだ手法を用いて、新たに作成する情報誌に一本化したいと考えている。

ボランティアとの協働について

問 朋松苑におけるボランティア活動の現状を伺う。

答 現在、定期的なボランティアとして八名の方に配膳

就業時健診の内容周知を

問 就業時健診で、知能テストを実施していることをなぜ周知しないのか。

答 検査の内容もお知らせするよう努力する。

環境に優しい自治体実現を

問 石けんに対する安全性の認識、現状の取り組み実態と今後の課題はどうか。

答 環境に優しいなど、有効性は認識。引き続き調理業務を委託した学校では、可能な限り使用していきたい。

問 市民環境グループと協働で、環境改善のための取り組みをどうするか。

答 環境フェアや生活展など、環境啓発の場を活用して、対応していきたい。

小さな声 ネットワーク

分離信号の増設について

問 歩行者と車の横断時間を分離し、歩行者の安全を図る分離信号の増設を。

答 習志野台、高根小前、緑台交番前に設置予定。来年度は、八栄小前、峰台小、七林小、芝山西小の各通学路に設置予定である。

母子福祉支援策を問う

問 他の自治体のモデルとなるような母子福祉支援策を構築できないか。

答 現在調査研究中であり、将来的には自立促進計画に位置付けることも検討したい。



乳幼児の救急救命講習

乳幼児に対する救急救命講習

問 乳幼児の事故をできるだけ防ぐため、子育て世代向け講習の開催を。

答 乳幼児の講習も、受講対象者に応じていく。



積極的なボランティアの受け入れを（朋松苑）

の手伝いや話し相手等の活動で、夏祭りなど不定期なボランティアとして近隣自治会、老人大学の介護学科

の事業である。

問 朋松苑にシニアボランティアを派遣できないか。

答 積極的に派遣を申請したい。

問 中核市移行に伴い、新しい部署の庁舎内の配置をどのように考えているか。

答 市民の利便性や関係課の意向を踏まえ、執務スペースの配分を要望している。

問 介護保険課と関連性の深い高齢者福祉課を同じフロアにすることはできないか。

答 新しい部課の配置計画の中で検討したい。

問 今年度の新規事業であるシニアボランティア事業とはどのような事業なのか。

答 募集に応じた高齢者が半年間の養成講座で基本を学んだ後、一人暮らしの高齢者や施設等の要請に応じて訪問し、相談相手になると

新風

海を活かしたまちづくり

問 多くの市民に船橋の海「三番瀬」に関心を持ってもらうことが重要である。市民へのPRの考えを伺う。

答 三番瀬を意識した、現在の海浜公園の愛称を広報紙で広く募集する。市民への認識効果を期待している。

青少年対策について

問 スポーツを通じた青少年の忍耐力育成のため、週末を「身体や精神を鍛える日」とし、啓蒙する考えは。

答 多くの子どもが地域での

高齢社会に対応したまちづくりを

問 以前改修工事がされた三山交差点周辺道路の道路冠水についての取り組みを伺う。

答 現地を確認の上、改めて対応していきたい。

問 歩道と車道の段差を二センチ未満に整備できないか。

答 実例等を調査し、実施に向けて検討したい。

職員・職場変革

問 職員の意識高揚と行政全般の向上が見込まれる職員提案制度は機能しているか。

答 平成四年に応募方法等が改善され、現在まで百九十件の提案がされている。

問 提案への褒賞金額の見直しは考えているのか。

答 この制度における類似都市との比較において最低限の金額に差異がないことから見直しは考えていない。

ハウス等の整備促進、少人数で生活するグループリビングに対する助成。また、居宅サービスの充実である。

ハウス等の整備促進、少人数で生活するグループリビングに対する助成。また、居宅サービスの充実である。

ハウス等の整備促進、少人数で生活するグループリビングに対する助成。また、居宅サービスの充実である。



小学校に設置したコンポスト

ごみの減量を図れ

問 「ごみ対策研究会」の進捗状況と今後の方向性を伺う。

答 家庭からの排出ごみ対策

計画を策定した上で、実施に向けて検討していきたい。

問 男女平等推進の立場から父子手当も見直しを行うべきではないか。

答 市単独事業である母子等家庭児童養育手当は父子家庭も含んでいるため、父子手当の見直しは考えていない。

問 市単独事業である母子等家庭児童養育手当は父子家庭も含んでいるため、父子手当の見直しは考えていない。

問 市単独事業である母子等家庭児童養育手当は父子家庭も含んでいるため、父子手当の見直しは考えていない。

無所属

オートレース事業と中央卸売市場

問 オートレース事業の赤字解消にどう努めるのか。

答 CS放送放映日の拡大による電話投票の売上増や魅力あるオートレースの実現、経営基盤の強化確立を検討。

問 市場の活性化のため来年

の研究を行うこととした。

問 飯山満南小学校に設置した生ごみ処理機の評価と全学校への導入予定を伺う。

答 堆肥の利用方法や経費の問題等がある。検討委員会を設置し有益な運営を図っていく。今後は、委員会等の状況で対応していきたい。

問 道路行政について

問 坪井地区の市道001130号線の整備について、区画整理事業に面する部分と同時に全線整備しないと現在より危険な道路となってしまう。見解を伺う。

生涯学習について

問 地域活性化の中心として、また、生涯学習の拠点としての公民館のあり方を伺う。

答 学校と共に地域団体等と連携を図ることにより、地域の学びの輪ができると考えている。

問 東部公民館は、老朽化による建て替えの時期が来ている。地域住民の意見を聞き、計画的に準備すべきではないか。

日本共産党

土地開発基金で購入した土地

問 平成五年に習志野台の公道に接していない、囲まれた土地を、当時の実勢価格よりも高価で購入した理由は何か。

答 隣にある土地と一体として購入し、利用幅が拡大されたことによる。

問 一体利用ができるとしても、高価であると考えるか。

答 公共用地の取得に伴う損失補償金と整合を図った鑑定で、適正な価格である。

中山地域治水対策について

問 北原排水機場の排水能力を一時五十ミリの対応ができるよう県に申し入れをするべきではないか。

答 対応できる排水施設の設置及び排水量の増加を検討し、県に申し入れをする。

財政のあり方を問う

問 市民から預かっている税金を安易に支出している事例が幾つもあり、税を大切に使う姿勢が行政の中に確立したとは思えない。将来に対して財政の組み方が無責任ではないか。

答 税収が右肩上がりの時は、支出について甘い面があった。今はこれまでの事業も含めて無駄がない歳出を組むことが必要であり、十五年度予算に反映させていく。

分譲マンションの管理

問 分譲マンションの問題に対応するための相談窓口や専門の相談員の設置、また

マンション相談会・セミナーの開催など、相談体制の整備を図るべきではないか。

答 おおの、相談体制の充実に努めていく。

問 建築年数が経過したマンションへ修繕計画作成の援助が必要と考えるがどうか。

答 管理組合に技術的支援を行い指導していく。

道路整備について

問 都市計画道路3・3・38号線（坪井駅前線）が整備されると、習志野台八丁目方向に流れてくる車両が狭い路地に入り込んでくること懸念される。安全対策はどうか。

答 可能な安全対策を地元と協議し対応していく。

地区社会福祉協議会について

問 場所及び運営の不十分さをどう改善していくのか。

答 社会福祉協議会と連携し、改善できるよう努めていく。

問 商店会に事務所を設置するなど地域性を生かす施設の検討も社会福祉協議会に申し入れるべきではないか。

答 地域福祉計画策定の中で扱っていく。

介護保険制度について

問 財政調整基金を全額取り崩し保険料の値上げを抑えることを求めるがどうか。

答 一部取り崩しを行い、保険料の抑制を検討する。

問 在宅サービスの利用限度額が低いことから、限度額の上乗せサービスを市単独で実施する考えはないか。

答 実施はできないが、検討の余地はあると考えている。

問 朋松苑の業務改善として、診断書を廃止し利用者に無用の負担を負わせないこと、ショートステイ利用の際に一時金を預かることも必要ないと考えるがどうか。

答 本人や家族の負担を少しでも軽減し、適切な介護サービスが受けられるよう協議する。

身近に運動できる広場を

問 三山の元防衛庁官舎用地を買い上げ市民の運動場とすることを求めるがどうか。

答 現地及び使用目的を調査し検討する。

保育内容の充実を

問 現在、年度途中から臨時の職員が大量に増えることで、職員体制や保育内容の水準を維持するのが困難になっている。年度当初から、必要保育士は正規職員で確保し、事態を改善するよう求めるがどうか。

答 すべて正規にすることは行財政から困難であり、一定限度の範囲で臨時的任用職員を導入することはやむを得ないと考える。

中核市について

問 中核市になると何が変わるのか。

市 清 会

高齢者福祉グループホームについて

問 グループホームの施設整備状況はどうか。

答 民間事業者による三施設、三十人分が整備されている。また、現在、定員十八人の施設を整備中である。

問 施設待機者の緩和策との関連及び今後の整備方針は。

答 要介護度の低い方の受け皿及び住み慣れた地域で生活できる居宅サービスの充実の観点から、整備を促進していきたい。

問 民間が施設整備した場合、国の助成制度がないため普及が遅れているが、支援策を問う。

答 市単独で、社会福祉法人、医療法人及びNPO法人を対象とした施設整備補助制度がある。また、既存のアパートを改修し整備する

問 職員の意識改革がなされ、船橋市政は着実に前進する。保健師業務の移譲により、保健師の地域活動が変更されるようだが、現在行っている地域活動は継続し、地域との連携は強めていくべきではないか。

答 個々へのかかわりを重視した保健活動を展開するため、地区活動は縮小する。

問 本市は「千葉県廃棄物の処理の適正化等に関する条例」から、適用除外となる。同様の市独自の条例をいつ制定するのか。

答 一年間は除外しないとの回答を得たが、この猶予期

場合についても対象とした。

学校支援について

問 学校の校庭は、土のイメージが定着しているが、子どもたちの安全及び地域のコミュニティの場として芝生化する考えはないか。

答 今年度、中央教育審議会

校庭の芝生化を

から小中学校の校庭を芝生化する中間報告が国に提出された。最終答申を待ち研究をしていきたい。

問 地域に対する情報公開及

問 市民が期待している十路線の実現を求めるがどうか。

答 民間バス事業者が生活路線バスを運行させ良い結果が出ていることから、この動向を見極めたい。

問 市民が期待している十路線の実現を求めるがどうか。

答 民間バス事業者が生活路線バスを運行させ良い結果が出ていることから、この動向を見極めたい。

問 市民が期待している十路線の実現を求めるがどうか。

答 民間バス事業者が生活路線バスを運行させ良い結果が出ていることから、この動向を見極めたい。

問 市民が期待している十路線の実現を求めるがどうか。

答 民間バス事業者が生活路線バスを運行させ良い結果が出ていることから、この動向を見極めたい。

問 市民が期待している十路線の実現を求めるがどうか。

答 民間バス事業者が生活路線バスを運行させ良い結果が出ていることから、この動向を見極めたい。

ふなばし 21

平成十五年度の

予算編成について問う

問 平成十五年度の予算編成についての基本的な考えを問う。

答 経常経費を抑制するとともに、政策経費については、市民のニーズを的確に把握したうえでその行政効果を十分検討し、効率的・重点的配分を行う必要がある。来年度は中核市移行や保健所設置という大きな事業を

問 市民が期待している十路線の実現を求めるがどうか。

答 民間バス事業者が生活路線バスを運行させ良い結果が出ていることから、この動向を見極めたい。

び地域との連帯が児童を守る危機意識と真の開かれた学校と考えるがどうか。

問 学校から様々な情報を発信し、保護者や地域と一体となり教育を展開すること重要と考える。

工業問題について

問 工業地域が他の用途利用に侵食され減っているが、具体的な対策と保全策は。

答 工場遊休地に関する情報の把握を行い、企業への情報提供による未利用地の有効利用を図ってきたい。

農業問題について

問 近年の急速な都市化により、市内の耕地面積及び農家は減少している。さらに都市計画法の改正により市街化調整区域に一般住宅が建てられることになり農耕地の減少が懸念されるが、対応策を問う。

答 本年四月に施行した開発・建築行為の基準を定めた条例には、場所及び建築の用途等、一定の基準がある。

問 医療センターが紹介する葬祭場の業者選定に不公平はないか。

答 遺族から相談があった場合のサービスの一環として、葬祭業者一覧表を各病棟に

問 医療センターが紹介する葬祭場の業者選定に不公平はないか。

答 遺族から相談があった場合のサービスの一環として、葬祭業者一覧表を各病棟に

問 医療センターが紹介する葬祭場の業者選定に不公平はないか。

答 遺族から相談があった場合のサービスの一環として、葬祭業者一覧表を各病棟に

問 医療センターが紹介する葬祭場の業者選定に不公平はないか。

答 遺族から相談があった場合のサービスの一環として、葬祭業者一覧表を各病棟に

問 医療センターが紹介する葬祭場の業者選定に不公平はないか。

答 遺族から相談があった場合のサービスの一環として、葬祭業者一覧表を各病棟に

る。開発行為に対しては、隣接する農地に悪影響がないよう指導していきたい。

問 農業従事者の減少対策はどうか。

答 昭和三十年代より順次修繕を進めてきたが、バブルの崩壊後は、財政状況が厳しく予算の確保が難しい状況であった。

問 今後の高齢化社会を負擔するのは、今、通学している子どもたち、そして、今後入学する子どもたちである。子どもたちへの予算は最優先すべきではないか。

答 現在、「船橋市立学校等将来計画検討協議会」で検討している。施設整備及び環境整備についても、財政状況を考慮しながら計画を策定していきたい。

問 地域の学校を、地域住民や教師・生徒で環境改善を行うことも必要と考えるがどうか。

答 教育改革の大きな課題は、学校と地域が協力して学校運営をすることである。学校と地域が連携して開かれた学校をつくっていくことが大切と考える。

問 老朽化には長い時間がかかる結論した。今後申し入れがあった場合は、慎重に対応していきたい。

問 困っている人たちに届かないのが現実。この時期に物資援助をするについて

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

設置している。業者選定については一切かわっていない。

問 日本一の農産物・海産物の販売センター建設を

問 「海を活かしたまちづくり」の一つとして、日本一の農産物・海産物の販売センターをつくり、観光的な発展を目指す考えはないか。

答 現在の状況では難しいと考える。今後のまちづくりの中に、その精神を生かしていきたい。

問 現在、市内小・中学校の学校施設は、老朽化している。小学校での、一番古い校舎の築年数、全学校の平均築年数及び大規模改修や改築の必要がある校舎は何か。

答 最も古い校舎は、築四十四年。平均築年数は、二十九年。大規模改修等が必要な校舎は、本年度末で、十一校である。

問 老朽化には長い時間がかかる結論した。今後申し入れがあった場合は、慎重に対応していきたい。

問 困っている人たちに届かないのが現実。この時期に物資援助をするについて

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

かると考えるが、なぜ今まで修繕されず放置されていたのか。

答 昭和三十年代より順次修繕を進めてきたが、バブルの崩壊後は、財政状況が厳しく予算の確保が難しい状況であった。

問 今後の高齢化社会を負擔するのは、今、通学している子どもたち、そして、今後入学する子どもたちである。子どもたちへの予算は最優先すべきではないか。

答 現在、「船橋市立学校等将来計画検討協議会」で検討している。施設整備及び環境整備についても、財政状況を考慮しながら計画を策定していきたい。

問 地域の学校を、地域住民や教師・生徒で環境改善を行うことも必要と考えるがどうか。

答 教育改革の大きな課題は、学校と地域が協力して学校運営をすることである。学校と地域が連携して開かれた学校をつくっていくことが大切と考える。

問 老朽化には長い時間がかかる結論した。今後申し入れがあった場合は、慎重に対応していきたい。

問 困っている人たちに届かないのが現実。この時期に物資援助をするについて

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、

問 船橋市から北朝鮮に対して九月十七日以降に行われた食糧援助についての経緯を問う。

答 北朝鮮への援助を行っている民間団体の依頼により、食糧難で困っている人たちが救うという人道的目的で、



渋滞の国道14号中山競馬場入口交差点

問 西船橋駅周辺道路は常に渋滞で、新しく消防署が建設されても思うように出動できないことが予想される。国道交差点改良の進捗状況及び周辺交差点の改良について伺う。

答 西船橋駅周辺のまじつくり

緑政会

問 議員や立候補予定者の個人名入りののり旗の街頭使用をどう考えているか。

答 選挙が行われていない平常時に、議員や後援団体の名称を表示するのは、議員や立候補予定者本人、またはその後援団体が使用する事務所のみ掲示できることについて伺う。

問 警察の許可を得ない街頭政治活動が、市道等の市管理地で行われることについてどう考えているか。

答 警察と十分連携し、毅然とした対応をするべきでは。実態を調査し、場合によっては警察に連絡する。

市民連合

とになっている。

問 警察と十分連携し、毅然とした対応をするべきでは。実態を調査し、場合によっては警察に連絡する。

答 警察と十分連携し、毅然とした対応をするべきでは。実態を調査し、場合によっては警察に連絡する。

市民憲章の制定を

問 平成十四年第一回定例会で、中核市発足に伴う市民憲章の制定を求めたところ、市長は「十分に関係者の意見を聞きながら研究したい」との答弁であった。その後、どのような研究を行ったのか。

答 市民憲章は、都市の未来に向けて非常に重みのあるものであり、制定に向けては市民の機運の盛り上がりが必要である。憲章の制定に当たっては、市民の要望を十分に反映させることが重要である。現在、関係機関や市民団体と連携しながら、具体的な内容について検討中である。

問 市民憲章は、都市の未来に向けて非常に重みのあるものであり、制定に向けては市民の機運の盛り上がりが必要である。憲章の制定に当たっては、市民の要望を十分に反映させることが重要である。現在、関係機関や市民団体と連携しながら、具体的な内容について検討中である。

答 市民憲章は、都市の未来に向けて非常に重みのあるものであり、制定に向けては市民の機運の盛り上がりが必要である。憲章の制定に当たっては、市民の要望を十分に反映させることが重要である。現在、関係機関や市民団体と連携しながら、具体的な内容について検討中である。

問 国道十四号の中山競馬場入り口交差点の改良事業は、現在、用地買収を進め約二八％の進捗率である。また、この交差点から京葉道路の原木インターに向かう車線の見直しを県で検討している。

答 国道十四号の中山競馬場入り口交差点の改良事業は、現在、用地買収を進め約二八％の進捗率である。また、この交差点から京葉道路の原木インターに向かう車線の見直しを県で検討している。

介護保険料の見直しを

問 本市の介護保険料は、五段階制の設定で、低所得者に対し申請による減免を行っている。公平性の点から六段階制を導入する考えはないか。

答 来年度導入に向け検討していききたい。

お知らせ

「市議会だより」に対するお気づきの点がありましたら、下記までご意見等をお寄せください。

船橋市議会 広報編集委員会
電話 047(436)3012
FAX 047(436)3013
Eメール gikaishomu@city.funabashi.chiba.jp

～次の定例会は2月26日開会の予定です～

請願・陳情について
次の定例会の受理期限は、2月25日(火)午後5時です。



船橋駅北口駐車場の健全経営を

定に当たっては、市民の要望・意見等を市民意識調査などの機会をとらえて聞いていきたい。

船橋北口駐車場の経営改善策

問 債務超過となっている北口駐車場の今後の経営について伺う。

答 債務超過となっている北口駐車場の今後の経営について、関係機関と連携しながら、具体的な改善策を検討中である。

ベンチャー企業の育成を図れ

問 本市におけるベンチャー企業の育成・支援策を伺いたい。

答 商工会議所、工業団体及び金融機関と意見交換を行っており、これらの意見を踏まえ事業化を検討する。

学校自由選択制の確立を

問 現行の学区制を廃止し、完全自由選択制を目指すための具体的対策を速やかに確立するべきではないか。

答 船橋市立学校等将来計画検討協議会の答申を踏まえ、かつ東京都や近隣市で行っている実情を把握しながら検討していききたい。

指導していく。

問 このまま放置してしまうと、倒産という事態にもなりかねないと思うがどうか。

答 船橋市街地改造公社と船橋北口駐車場株式会社との合併を視野に入れた検討を行っている。

問 本市におけるベンチャー企業の育成・支援策を伺いたい。

答 商工会議所、工業団体及び金融機関と意見交換を行っており、これらの意見を踏まえ事業化を検討する。

問 現行の学区制を廃止し、完全自由選択制を目指すための具体的対策を速やかに確立するべきではないか。

答 船橋市立学校等将来計画検討協議会の答申を踏まえ、かつ東京都や近隣市で行っている実情を把握しながら検討していききたい。

議案議決結果

区 分	件 名	各 会 派 の 賛 否									議決結果
		市 新	ふ	清	緑	公	共	民	声	無	
第1号	平成14年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2号	平成14年度船橋市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3号	船橋市行政組織条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第4号	船橋市個別外部監査契約に基づく監査に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第5号	船橋市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
第6号	船橋市証紙条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第7号	船橋市特別会計条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第8号	船橋市議会議員及び船橋市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
第9号	船橋市船橋駅前総合窓口センター条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第10号	船橋市市民活動サポートセンター条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第11号	船橋市結核診査協議会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第12号	船橋市感染症診査協議会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第13号	船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
第14号	船橋市保健所条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第15号	船橋市地域保健推進協議会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第16号	船橋市化製場等に関する法律に基づく届出事項を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第17号	船橋市食品衛生法に基づく公衆衛生上講ずべき措置の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第18号	船橋市動物の愛護及び管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第19号	船橋市小規模水道条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第20号	船橋市社会福祉審議会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第21号	船橋市環境保全条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第22号	船橋市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第23号	船橋市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第24号	船橋市屋外広告物条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
第25号	船橋市開発審査会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第26号	船橋市民文化ホール条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第27号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第28号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第29号	平成14年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第30号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
第31号	特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第32号	市長等の給与月額の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案第1号	船橋市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案第2号	専決処分事項の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○－賛成 市(市議会) 新(新風) ふ(ふなばし21) 清(清新会) 緑(緑政会) 公(公明党) ×－反対 共(日本共産党) 民(市民連合) 声(小さな声ネットワーク) 無(佐藤 浩)

請願・陳情議決結果

付託委員会	受理番号	件名	本会議の結果
総務	陳情第33号	都市計画税の廃止に関する陳情	× 全
	陳情第34号	有事法制反対の意見書提出に関する陳情	× 多
	陳情第35号	アメリカの対イラク先制攻撃阻止の意見書提出に関する陳情	○ 多
厚生	陳情第36号	最低保障年金制度創設等の意見書提出に関する陳情	× 多
	陳情第37号	公的年金制度の改革等の意見書提出に関する陳情	× 多
	陳情第38号	介護保険料引き上げ計画中止に関する陳情	× 多
	陳情第39号	乳幼児医療・介護保険・国民健康保険制度充実の意見書提出に関する陳情	○ 多
	陳情第40号	保育所職員配置基準の改善を求める意見書提出に関する陳情	○ 多
	陳情第41号	保育所運営費基準改善等の意見書提出に関する陳情	○ 多
	陳情第40号	縦割り保育(異年齢の混合保育)の職員配置基準に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
環境経済	陳情第42号	WTO(世界貿易機関)農業交渉等の意見書提出に関する陳情	○ 全
	陳情第43号	WTO(世界貿易機関)農業交渉等の意見書提出に関する陳情	○ 全
	陳情第44号	遺伝子組み換え稲不承認等の意見書提出に関する陳情	○ 全
	陳情第45号	馬込斎場の火葬炉増設等に関する陳情	× 全
	陳情第46号	馬込斎場式場の削減中止等に関する陳情	○ 全
	陳情第47号	馬込斎場式場の削減中止等に関する陳情	○ 全
	陳情第48号	馬込斎場式場の削減中止に関する陳情	○ 全
建設	請願第2号	市道飯山満古和釜線の拡幅等に関する請願	○ 全
	陳情第50号	市道00-114号線に関する陳情	× 多
文教	請願第3号	教育予算増額等に関する請願	× 多
	陳情第51号	普通学級に通学する障害児の環境整備に関する陳情	○ 多
	陳情第52号	学校給食への遺伝子組み換え米使用自粛に関する陳情	○ 多
	陳情第53号	学校給食食器洗浄の石けん使用拡大に関する陳情	○ 多
議会運営	陳情第76号	議場に国旗掲揚に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
	陳情第2号	議場に国旗及び市旗掲揚に関する陳情(継続審査事件)	△ 多

○－採択 ×－不採択 △－継続 全－全会一致 多－多数